



すくすくだより

令和6年6月1日
三永太陽保育園
乳児クラス第9号

新年度になり2か月が過ぎ、新しいクラスでの生活に慣れ、子ども達は毎日元気いっぱい遊んでいます。だんだんと暑くなっていますが、園庭や人工芝で思いきり体を動かしたり、お部屋の中で好きな遊びを見つけたりして遊んでいます。

いちご組

初めての保育園生活に少しずつ慣れ、担当保育士とゆったりと関わりながら、安心して過ごす姿も増えてきました。はいはいや伝い歩き、歩行などができるようになり、室内や人工芝の上を嬉しそうに移動したり、とびきりの笑顔を保育士に見せながら一緒に喜び合ったりしています。また、お気に入りの場所や好きな玩具を見つけて遊びを楽しむ姿も増えてきました。これからも安心してできる雰囲気の中で子ども達の成長を見守っていきたいと思っています。



りんご組

安心できる担当保育士と一緒にわらべうたやままごとなど好きな遊びをして、楽しく過ごせるようになってきています。戸外に出ると草花をみつけて触れてみたり、保育士や友達と一緒に走ったりして楽しんでいます。

これからも子どもの気持ちに寄り添いながら、安心して伸び伸びと過ごせるようにしていきたいと思っています。



もも組

クラスの保育士や友達に慣れ、安心して過ごす姿が見られるようになってきました。園庭では草花を集めたり、生き物を見つけ触ったり、観察したりして楽しみ、室内では人形とカバンを持って「もも組の〇〇です！」と遊びの中であいさつを楽しんだりしています。

友達と関わる姿もたくさん見られるようになってきているので、その姿を大切に、園生活がより楽しめるようにしていきたいです。



～絵本の読み聞かせは、触れ合いの時間～



小さなお子さんに読み聞かせをするときは、言葉やお話の理解というより、聴覚・視覚・触覚といった五感の刺激、親子のコミュニケーションが目的です。「読み聞かせ」と言うと身構えてしまう方も少なくありません。

「音読は苦手で…」 「登場人物になりきって読むのは恥ずかしい」等いろいろ考えてしまっていますが、気負わずに大人も楽しむと面白いですよ！抑揚が少なくても、スラスラ読めずにつっかかってしまってもOK！「読んであげたいな」という気持ちが大切です！大人も一緒に本のしかけを楽しんだり、読んでいるときのお子さんを愛でたりしながら、楽しい気持ちで読み聞かせしてあげましょう。せっかく読み聞かせしようと思ったのに、全然聞いている様子がない、すぐに飽きてしまった……などはよくあること。そんなときは、時間や日をおいてトライしてみてください。親子のコミュニケーションツールとして絵本を身近に置くことで、お子さん自身のタイミングで絵本に興味がわくタイミングが訪れるはず。いつでも手に取れるようにし、気長に触れ合ってみてはいかがでしょうか♪